

古陶磁にあらわれる「人間模様」展

Human Figures in Chinese and Japanese Ceramics

やきものにまつわる「人物文様」と「人間関係」を紐解く



多彩な装飾が特色である江戸時代の伊万里焼や、明時代の中国・景德鎮窯の磁器の中で、今展では人物のモチーフに注目します。吉祥図としてあらわされた神仙画や、歴史上の名場面を描いた歴史画、世相を反映した風俗画など、その内容は多岐に渡るもの。今展では、第1章「願いを込める—神仙画・唐子図—」、第2章「古典に親しむ—歴史画・物語絵—」、第3章「風情を楽しむ—風俗画・美人画—」、第4章「己を映す—山水画—」の4つのテーマに分けて、ご紹介いたします。

あらわされた人物は誰か、どのような背景から描かれたのか、そして、どのような人々が受容したのか。「人物文様」そのものだけではなく、当時の「人間関係」にも目を配りながら、古陶磁にまつわる「人間模様」を紐解いていきます。伊万里焼や景德鎮窯磁器を中心に、約70点の館蔵品が繰り広げる「人間模様」を覗いてみませんか。

展覧会情報

- ◇ 名称：古陶磁にあらわれる「人間模様」展
- ◇ 会期：2024年10月10日(木)～12月29日(日)
- ◇ 開館時間：10:00～17:00(入館受付は16:30まで)
※金曜・土曜は10:00～20:00(入館受付は19:30まで)
- ◇ 休館日：月曜・火曜
※10月14日(月・祝)・11月4日(月・振休)は開館。
- ◇ 入館料：一般1,200円 / 高大生500円
※中学生以下は入館料無料。
※10月14日(月・祝)は創設者 戸栗亨のメモリアルデーのため、無料開館いたします。
- ◇ 会場：戸栗美術館(東京都渋谷区松濤1-11-3)
- ◇ 交通：渋谷駅ハチ公口より徒歩15分・地下鉄A2出口より徒歩12分
京王井の頭線 神泉駅北口より徒歩10分
※当館には駐車場はございません。近隣のコインパーキングをご利用ください。

展覧会構成と主な出展作品

※ 画像①～⑤および展覧会ポスターの画像データ等をご用意しております。ご入用の際は、お手数ですが別紙写真借用申請書をお送りください。

◆ 第1章「願いを込める—神仙画・唐子図—」（第1展示室）



▲画像① いろ え じゅろうじんもん はち 色絵 寿老人文 鉢
伊万里 江戸時代（18世紀前半） 口径 13.9cm

長生きも、子孫繁栄も

古陶磁にみられる人物文様には、人の姿を借りた神や仙人、子孫繁栄をあらわす唐子など、吉祥意を含むものが少なくありません。人物文様を介して、身近な器物に様々な願いを込めていたことがうかがえます。

寿老人▶

長寿の象徴として知られる寿老人。長い頭が特徴です。日本では福祿寿と同一視されることも。



◆ 第2章「古典に親しむ—歴史画・物語絵—」（第1展示室）



▲画像② ご さい じんぶつもん つぼ 五彩 人物文 壺 景德鎮窯 明時代（16世紀後半）（左）高 29.5cm（右）高 30.5cm



▲鴻門の会と推測される場面

◀右側の壺に「征東破楚」の文字があり、項羽と劉邦の戦いを軸とした楚漢戦争を題材としたと考えられます。

鮮やかに蘇る名場面

歴史画や物語絵も伊万里焼や景德鎮窯磁器のモチーフとして取り入れられています。数々の名場面が色褪せずに長く楽しめるのは、光にも温湿度にも強い陶磁器ならではの特性によるもの。受容者たちは、遠い過去や想像の世界の人物たちに思いを馳せたことでしょう。

◆ 第3章 「風情を楽しむ—風俗画・美人画—」（第2展示室）

古陶磁から世相を読む

江戸時代は、人伝てだけでなく出版物を通じて情報が飛び交う時代でした。美人画から抜け出たような、流行に身を包んだ女性や、長崎版画などで注目の的であった異国の人々の姿を捉えた伊万里焼からは、当時の人々の好奇心の高さがうかがえます。

画像③▶

いろえ ぶんぞう
色絵 婦人像

伊万里（柿右衛門様式）
江戸時代（17世紀後半）
高 39.2cm

▶ 御所鬘に結った黒髪や、華麗な文様をあらわした小袖に打掛など、当時の流行を反映した装束の女性。立体版美人画とも言うべき人形です。



初出展

画像④▲

そめつけ でじまじんぶつもん りんかざら
染付 出島人物文 輪花皿

伊万里 江戸時代（19世紀）口径 43.8cm

▶ 人物はオランダ人。しかし、周囲の物は中国風。江戸時代の長崎にあった出島と唐人屋敷のイメージを混合した、作られた「異国」の景色と言えるでしょう。



◆ 第4章 「己を映す—山水画—」（第2展示室）



案内人に導かれ、雄大な景色の中へ

中国で発展した山水画は、景德鎮窯の古染付、その影響を受けた伊万里焼にも取り入れられました。小さく描き込まれた人物たちは、景色の雄壮さを対比し、そして、その景の中に観者を誘う役割があります。

橋上を進む2人▶



▲画像⑤

そめつけ ろうかくさんすいもん さら
染付 楼閣山水文 皿

伊万里 江戸時代（17世紀中期）口径 20.0cm

展覧会紹介文

- ◇ 伊万里焼や景德鎮窯磁器などの人物モチーフに注目。(24字)
- ◇ 江戸時代の伊万里焼や明時代の景德鎮窯磁器を中心に、あらわされた「人物文様」そのものに加えて、当時の「人間関係」にも目を配りながら、古陶磁にまつわる「人間模様」を紐解く展覧会。館蔵品約70点を展示する。(98字)
- ◇ 古陶磁の意匠の中で、人物のモチーフに注目する展覧会。あらわされた人物は誰か、どのような背景から描かれたのか、そして、どのような人々が受容したのか。江戸時代の伊万里焼や明時代の景德鎮窯磁器を中心に、表現された「人物文様」そのものに加えて、当時の「人間関係」にも目を配りながら、古陶磁にまつわる「人間模様」を紐解く。「願いを込める—神仙画・唐子図—」、「古典に親しむ—歴史画・物語絵—」、「風情を楽しむ—風俗画・美人画—」、「己を映す—山水画—」の4つのテーマに分け、館蔵品約70点を展示する。(234字)

会期中の催し物

- ◇ 展示解説『古陶磁にあらわれる「人間模様」展』の見どころ
2階展示室にて、当館学芸員が主な出展作品の見どころをご紹介します。
 10月26日(土)・12月14日(土) 各日14:00～(約45分)
 参加費無料(要入館券) 予約不要
- ◇ ラウンジ & ギャラリー・トーク「古陶磁にまつわる人物文様と人間関係」
展覧会担当学芸員が、伊万里焼や景德鎮窯磁器にあらわされた人物や、江戸時代の伊万里焼作りに関わる人間関係などについてお話しいたします。前半は1階ラウンジにて景德鎮窯磁器や伊万里焼に見られる人物文様をジャンル分けして概説し、後半は2階展示室にて展示解説を行います。
 11月18日(月) 14:00～(約120分) 要事前予約 先着30名様
 参加費 一般1,500円(税込)(入館券を別途お求めください)／年間パスポート会員1,200円(税込)
※当日はご予約の方のみご入館いただけます。
※13時30分開館、17時00分閉館です。

同時開催

- ◇ 『江戸時代・伊万里焼作りの人間模様』(特別展示室)
- ◇ 『景德鎮と有田—染付と色絵の変遷—』(第3展示室)
- ◇ 『平戸松山窯 唐子絵三代展』(やきもの展示室)

次回展予告

千変万化—革新期の古伊万里— 2025年1月15日(水)～3月30日(日)

伊万里焼の技術的な革新期にあたる17世紀中期。成形・絵付けなどの技法に注目しながらその多様性をご紹介します。



色絵 葡萄文 瓜形壺
伊万里(古九谷様式)
江戸時代(17世紀中期)
高21.2cm

お問い合わせ

公益財団法人 戸栗美術館 広報担当 宛

〒150-0046 東京都渋谷区松濤1-11-3

TEL: 03-3465-0070 FAX: 03-3467-9813 E-mail: kouhou@toguri-museum.or.jp

公式サイト: <https://www.toguri-museum.or.jp/>